FASID 一般財団法人 国際開発機構
Foundation for Advanced Studies on International Development

２０１９年度 公益目的支出計画事業 社会調査法研修

国際協力に携わる実務者のための

統 計 学 入 門

統計学の基礎を学び、集計・分析およびデータを読み解くスキルの土台作りを目指します！

地域の現状分析やプロジェクト・プログラム評価に必要とされる統計学の基礎を学びます。国際開発や統計関連の技術協力、政策分析等に携わってきた柴沼晃氏を講師に迎え、実際の調査事例をケースに統計調査を一連の流れにそって学び、仕上げとして、公表されている地域分析やインパクト評価の情報を読み解きます。

■日時： **2020年1月9日（木）、10日（金）、11日（土） 9:30～17:00**

■場所： FASIDセミナールーム（東京都港区麻布台）

■講師： **柴沼晃氏/ 東京大学大学院医学系研究科国際地域保健学教室助教**

■対象： 国際開発援助・国際協力の実務者。実務に活かすために統計調査、統計分析の基礎を学びたい方や基礎から復習されたい方を歓迎します。

■参加費： 26,000円（税込）、法人賛助会員・FASIDフレンズは20,800円（税込）

■定員： 20～25名程度 （先着順。定員になり次第、ご応募を締め切らせていただきます。また、応募人数が少ない場合、実施を見送る場合があります。）

■注意事項：①**Microsoft Excel（2007以降のバージョン、簡易版ではなく、エクセル統計が使用できるバージョン)がインストールされたノートパソコン（Windowsを推奨）をお持ちください。**統計学の事前知識は問いませんが、Microsoft Excelを使ってデータの入力ができることを条件とさせて頂きます。（Excel関数やマクロ、プログラミングの知識は問いません。）

②統計分析用のフリーソフトウェア「R」を使用した分析も紹介する予定なので、こちらもインストールされておくことをお勧めします。（参照：https://cran.r-project.org/）

③研修会場ではインターネット接続の提供はございませんので、ご了承ください。

④研修は日本語で行われますが、英語の資料も使用する可能性があることを予めご了承ください。

⑤講師の専門が保健医療分野であるため、、研修で用いる事例等は保健医療分野のものとなりますが、保健医療分野以外の方々にもご理解いただける内容です。

内容詳細（予定） ※都合により、若干の変更がある可能性があります。

日時	形式	内容	キーワード
1/9(木) 9:30-17:00	講義/演習	調査の設計 調査・分析の目的を確認する/仮説を立案する/調査地域、対象者を明確にする/対象者の選び方/データ収集項目の定義/調査票（質問紙）設計	ログフレーム、Theory of change、Causal chain/調査デザイン/観察研究と介入研究/エビデンスとその強さ/全数調査と標本調査/標本抽出/測定の正確性と妥当性
		データの集計 データの分布を描く/データの中心的傾向を確認する/データの散らばりを数値で表す	度数分布表、ヒストグラム、正規分布/平均、中央値、最頻値/分散、標準偏差、標準誤差、範囲
1/10(金) 9:30-17:00	講義/演習	データの分析 グループ別の特徴の違いをまとめる/グループ別の成果の差を計算する/簡単な分析レポートを作成する/ウガンダの家計個票を使った分析演習	クロス集計、独立性検定、相関分析/2グループの平均の差の検定/3グループ以上の平均の差の検定
1/11(土) 9:30-17:00	講義/演習	データの分析と読み取り 成果の差に影響を及ぼしている要因を明らかにする/公表されている地域分析やインパクト評価を読む	回帰分析/効果量、第一種・第二種の過誤/様々なバイアス、外部妥当性

講師プロフィール、応募方法詳細は、次ページをご覧下さい。

講師プロフィール

柴沼晃氏/ 東京大学大学院医学系研究科国際地域保健学教室助教

政策研究大学院大学(GRIPS)国際開発プログラム修士課程修了。国内外での政策調査、統計に関する海外・国内での技術協力や統計刊行物の編纂、国際開発プロジェクトのインパクト評価等に従事してきた。現在は、開発経済学の実証分析手法と国際保健や地域保健の理論と実践を組み合わせ、人々の行動の背景にある要因や格差の原因を探るための研究を行っている。また、ガーナやカンボジアなどでランダム化比較試験を実施している。近著には、The coverage of continuum of care in maternal, newborn and child health: a cross-sectional study of woman-child pairs in Ghana. BMJ Global Health 2018;3:e000786.（共著）などがある。

参考文献

1. 小島寛之 『完全独習 統計学入門』 ダイヤモンド社、2006年
2. 中室牧子、津川友介 『「原因と結果」の経済学―データから真実を見抜く思考法』 ダイヤモンド社、2017年
3. Khandker, Shahidur R.; Koolwal, Gayatri B.; Samad, Hussain A. 2010. Chapter 2: Basic Issues of Evaluation. In Handbook on Impact Evaluation: Quantitative Methods and Practices. World Bank.
   https://openknowledge.worldbank.org/handle/10986/2693
   （PDFファイルとして無料公開されています。世界銀行によるインパクト評価の入門書です。事前に読んでいただく必要はありませんが、この本にある評価フレームワークを使用する予定です。）

応募方法詳細

■応募方法：オンライン応募フォームよりご応募下さい。下記URLへアクセスし、「応募フォームはこちら」ボタンをクリックしてください。

https://www.fasid.or.jp/business_management_course/3_index_detail.php

＊受講料のお支払い方法等は、12月25日（水）までに、ご本人へメールにてご連絡いたします。
＊受講決定後に、お客様のご都合により辞退をされる場合は、研修開始日の3営業日前からキャンセル料をお支払いいただきます。

■応募締切日：12月24日（火）12:00 ただし、先着順のため、定員になり次第ご応募を締め切らせていただきます。どうぞお早めにご応募ください。

■お問い合わせ先：
一般財団法人　国際開発機構(FASID)
人材開発事業部　担当：高倉、山本還
電話：03-6809-1996　/　Email：stats@fasid.or.jp
住所：〒106-0041　東京都港区麻布台2-4-5
メソニック39MTビル6F
http://www.fasid.or.jp

■研修会場：
一般財団法人　国際開発機構(FASID)　セミナールーム
（6階でエレベーターを降りて左にお進みください。）
東京メトロ日比谷線 神谷町駅 1番出口より徒歩6分
都営大江戸線 赤羽橋駅 中之橋口/赤羽橋口より徒歩7分
都営三田線 御成門駅 A1出口より徒歩10分

FASIDメール自動配信サービスのご案内

FASIDからの最新情報をEメールで受け取ることができる無料配信サービスがあります。 Eメールアドレス、氏名等を登録いただくと、FASIDからの最新情報が送信されます。 登録の解除、受信メールアドレスの変更も簡単に行うことができますので、是非、ご活用下さい。

詳細は、こちら↓をご覧下さい。

https://form.fasid.or.jp/mailservice/user_contents.php